

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年04月01日

計画の名称	豊かな水とともに生きる未来へ向けた下水道整備													
計画の期間	令和02年度 ~ 令和02年度 (1年間)								重点配分対象の該当					
交付対象	安城市													
計画の目標	市民への安全・安心な下水道サービスの提供並びに下水道事業の健全な経営を継続する。													
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		32	A	32	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R2当初	中間目標値	最終目標値 R2末
1	浄化槽を転用した雨水貯留槽の設置基数を145基(R1末見込)から153基(R2末)に引き上げる。 浄化槽転用貯留槽の設置基数	145基	基	153基
2	ストックマネジメント計画に基づく管路調査の進捗率を20.8%(R1末)から、33.3%(R2末)に引き上げる。 ストックマネジメント計画に基づく管路調査のうち、調査した延長の割合 調査済み延長(km) ÷ 計画調査延長(km) × 100	21%	%	33%
3	ストックマネジメント計画に基づくポンプ更新の進捗率を0%(R1末)から50%(R2末)に引き上げる。 ストックマネジメント計画に基づくポンプ更新のうち、更新台数の割合 更新台数(台) ÷ 計画更新台数(台) × 100	0%	%	50%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												R02	R03	R04	R05	R06					
一体的に実施することにより期待される効果																					
備考																					
下水道事業	A07-001	下水道	一般	安城市	直接	民間	-	-	雨水貯留施設助成	雨水貯留槽整備助成	安城市						1	-			
		新世代																			
	A07-002	下水道	一般	安城市	直接	安城市	管渠(-	ストックマネジメント	ストックマネジメントに基づ	安城市							20	-		
		く施設調査																			
	A07-003	下水道	一般	安城市	直接	安城市	ポンプ	改築	ストックマネジメント	ストックマネジメントに基づ	安城市							11	-		
		く広美中継ポンプ場のポンプ更新																			
												小計							32		
											合計								32		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 安城市上下水道部において実施	事後評価の実施時期 令和4年3月実施
	公表の方法 安城市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none">・下水道接続により、不要となった浄化槽の雨水貯留槽への転換を促進し、浸水被害の軽減に努めた。・下水道施設の計画的な調査・改築を推進し、機能確保と事故の未然防止に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
老朽化対策及び浸水対策については今後、防災安全交付金事業にて実施し、事業進捗の加速を図る。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	浄化槽転用貯留槽への転換補助数	
	最終目標値	153基
2	最終実績値	153基
	管路調査実施率	
3	最終目標値	33%
	最終実績値	33%
3	更新率	
	最終目標値	50%
	最終実績値	50%